

令和5年度版



# 文部科学省総合職 内定者の声



文部科学省



## 内定者一同ご挨拶

皆さん、こんにちは。この度は『令和5年度版 文部科学省総合職内定者の声』を手にとってくださり、ありがとうございます。この冊子は、文部科学省に興味を持っていただいた方に、様々な情報をお届けしたいという思いのもと、令和5年度の総合職内定者全員で制作しました。

「教育」 「科学技術・学術」 「スポーツ」 「文化」

この広範な4分野を所管する文部科学省は、“1人1人の力が最大限引き出され、幸せに生きることが出来る社会を実現する”という目標を掲げています。一方、新型コロナウイルス感染症の大流行により、社会は大きく変化し、その影響力は未だ色々な形となって表れているのが現状です。

日々激動し、多様性が高まり続ける社会において、私たち内定者が何を思い、何を実現したくて文部科学省への入省を志したのか。この冊子を通して感じ取っていただければ幸いです。また、現在就職活動中の皆さんが進路を選択する際の参考になれば、私たち内定者一同、心から嬉しく思います。

皆さんが自身の思い描く進路へ進めますこと、心の底より応援しております。

令和5年度 文部科学省総合職内定者一同



# CONTENTS



01 内定者統計 . . . . . P.01～03

02 総合職試験情報 . . . . . P.04～11

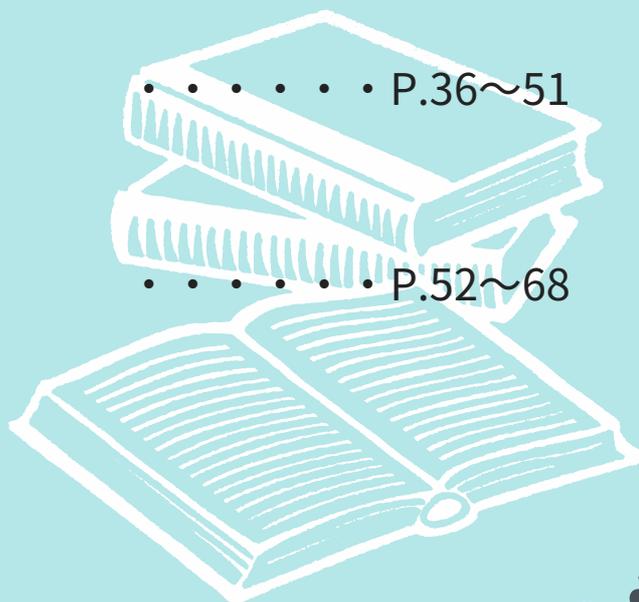
03 官庁訪問体験記 . . . . . P.12～25

04 就職活動体験記 . . . . . P.26～32

05 文部科学省に決めた理由 . . . . . P.33～35

06 インタビュー . . . . . P.36～51

07 内定者プロフィール . . . . . P.52～68



The background is a solid teal color with rounded corners. A white dashed border follows the outer edge. In the center, there is a white rectangular frame with a double-line border. The corners of this frame are decorated with stylized floral and leaf motifs in shades of blue and black. The text '01' is positioned above '内定者統計' in a clean, white, sans-serif font.

01  
内定者統計

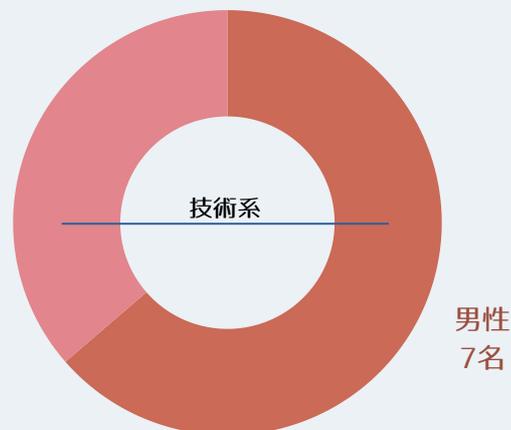
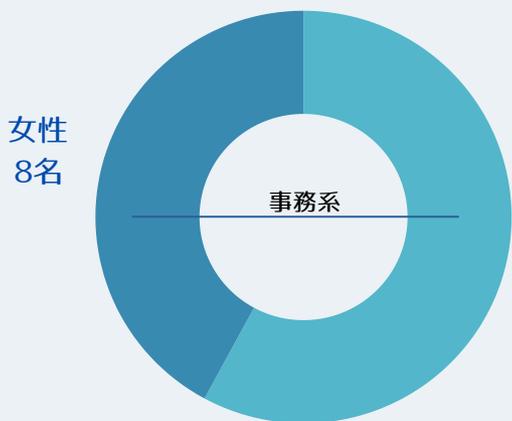


# 内定者合計30名

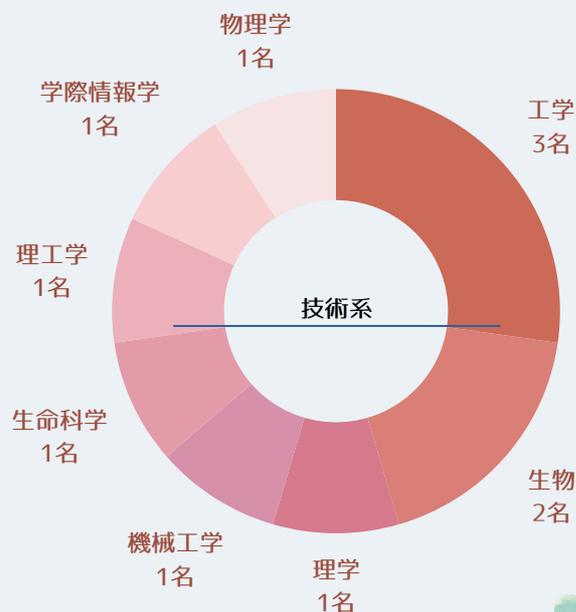
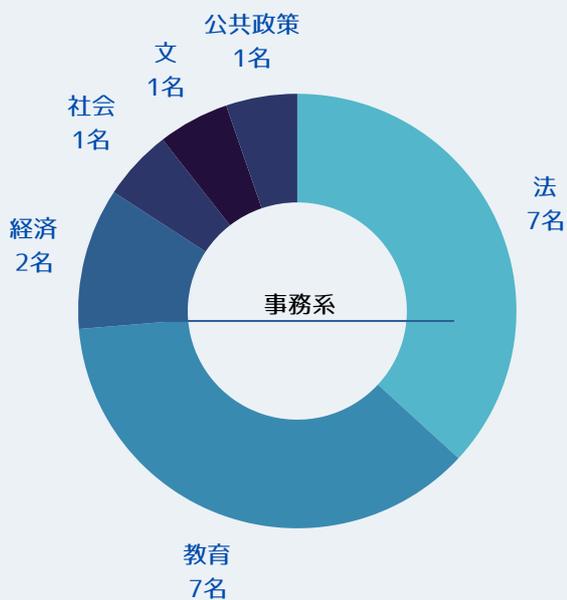
(事務系：19名 + 技術系：11名)



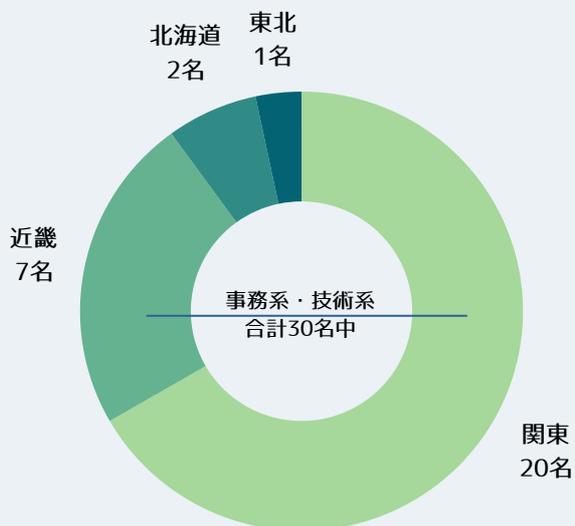
## 男女比



## 専攻



## 出身大学所在地



## 最終学歴





# 内定者合計30名 (事務系：19名＋技術系：11名)

## 社会人経験

事務系 1名

技術系 1名

事務系・技術系ともに1名ずつ…！  
貴重なお2人にはインタビューにも  
お答えいただきました♪

▶▶▶p.49へ

事務系のお2人は  
それぞれイギリス、韓国に  
技術系の方はアメリカ・カナダの2か国に  
留学されたようです！

## 留学経験

事務系 2名

技術系 1名

## 取得資格

教員免許 6 学芸員資格 2

司書 1 準デジタルアーキビスト 1 英検1級 1  
日本語教員養成課程 1 甲種危険物取扱者 1  
樹木医補 1 自然体験活動指導員 1 社会教育士 1

etc.

01

02

03

04

05

06

07

The page features a teal background with a white dashed border. A central white rectangular frame is decorated with black and blue floral sprigs at the corners. The number '02' is displayed in white within the frame.

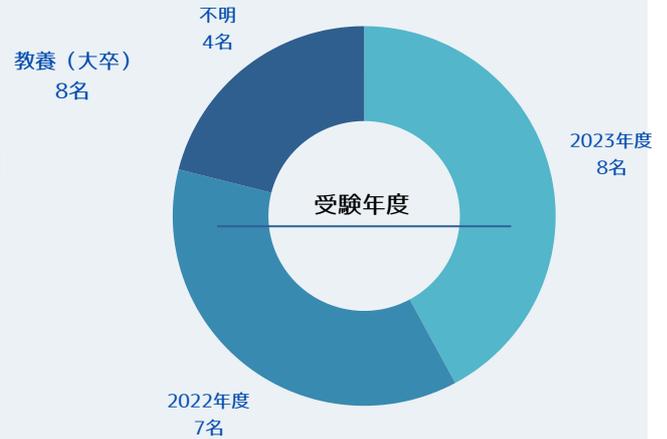
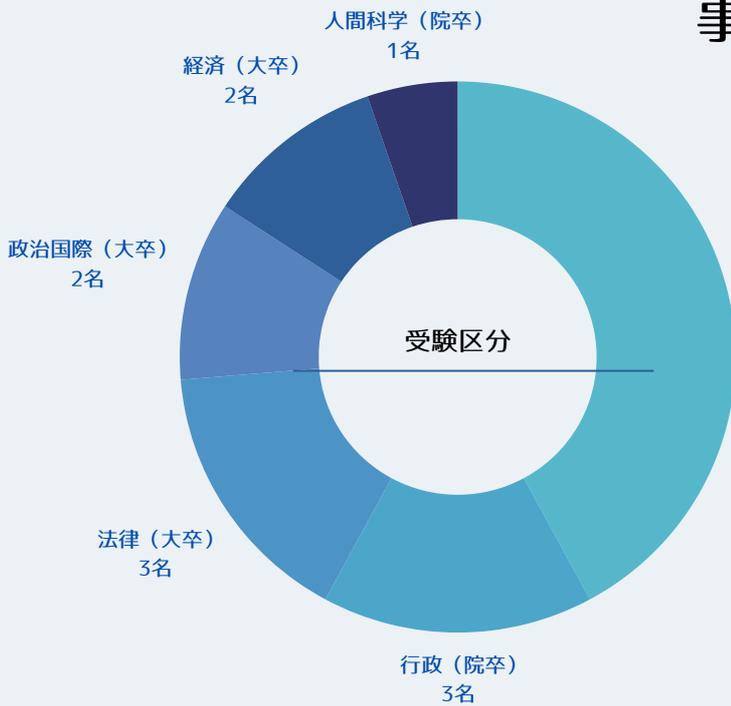
02

# 総合職試験情報

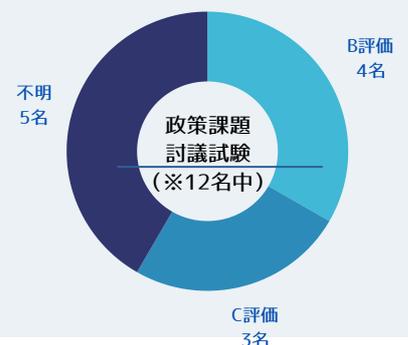
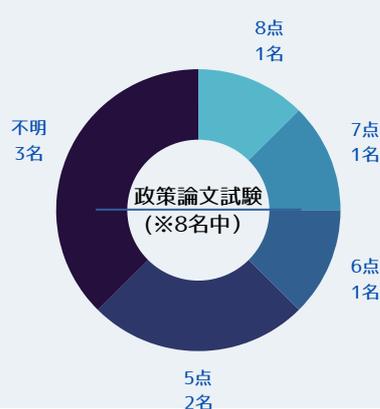
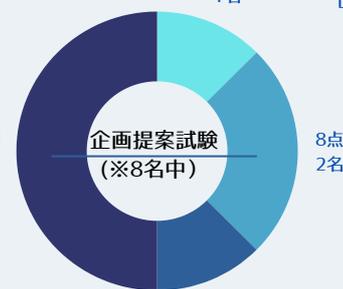
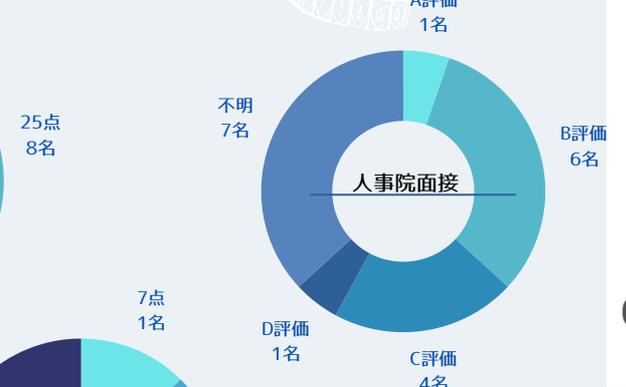
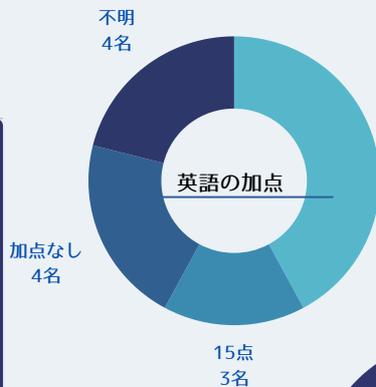


# 事務系 試験概要

事務系内定者：19名



# 事務系 試験結果

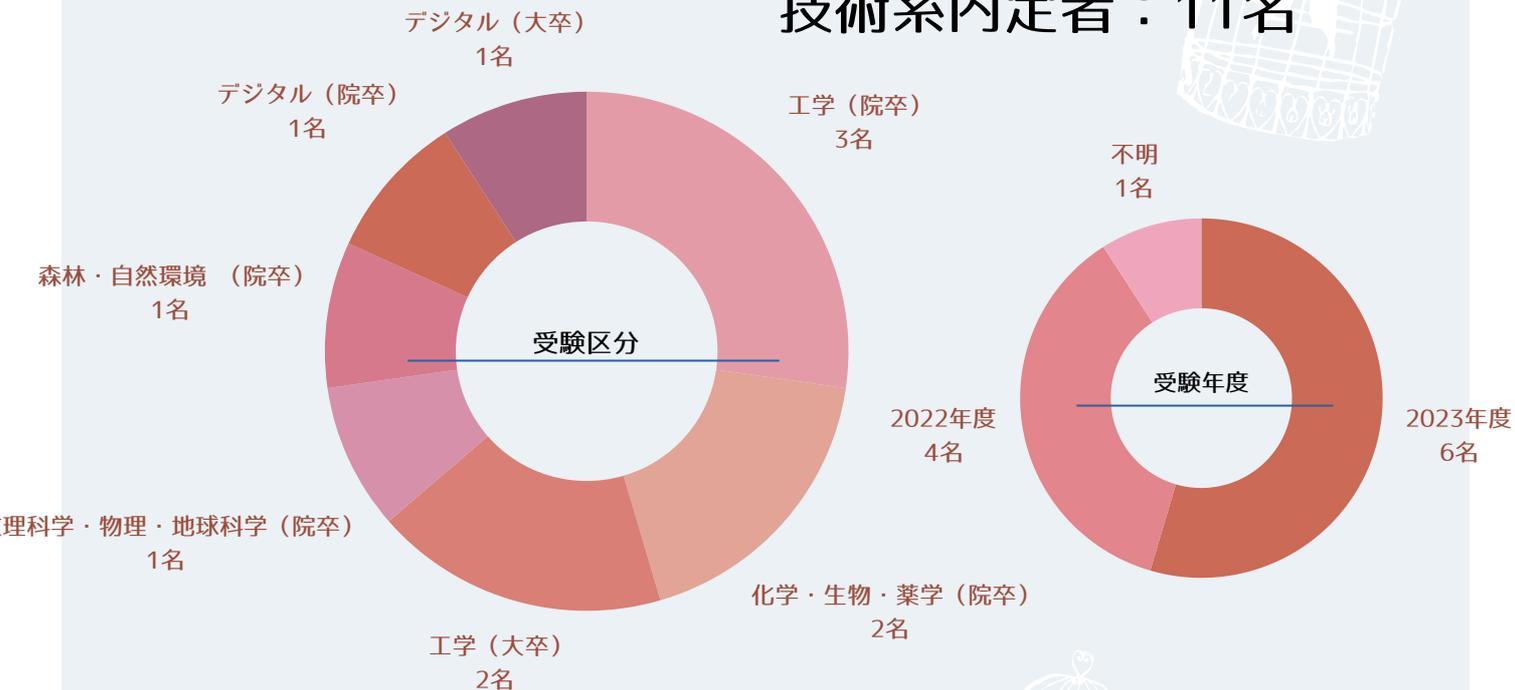


01  
02  
03  
04  
05  
06  
07

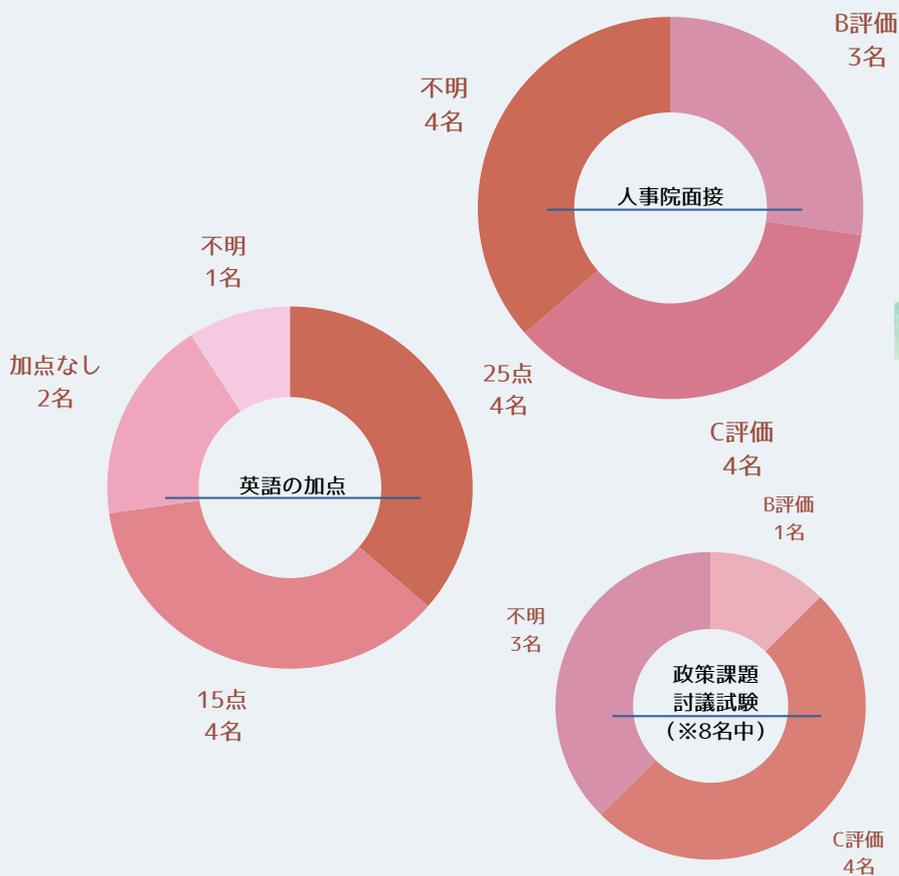
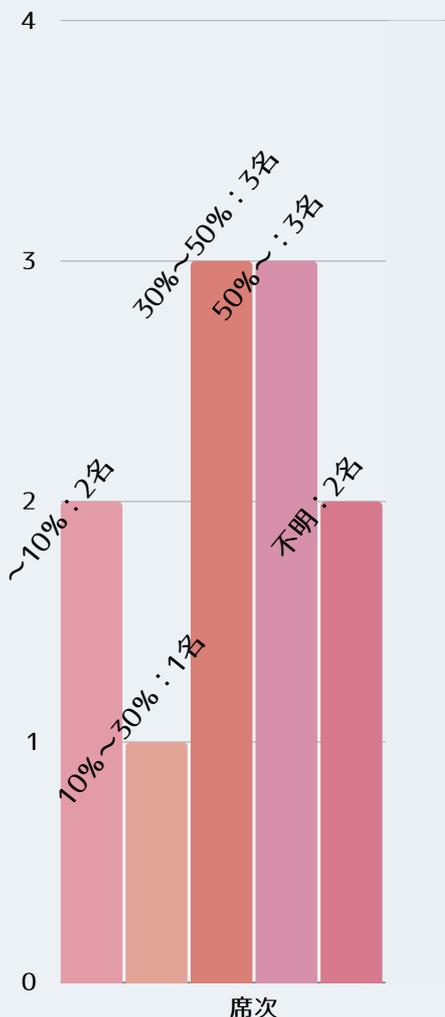


# 技術系 試験概要

技術系内定者：11名



# 技術系 試験結果

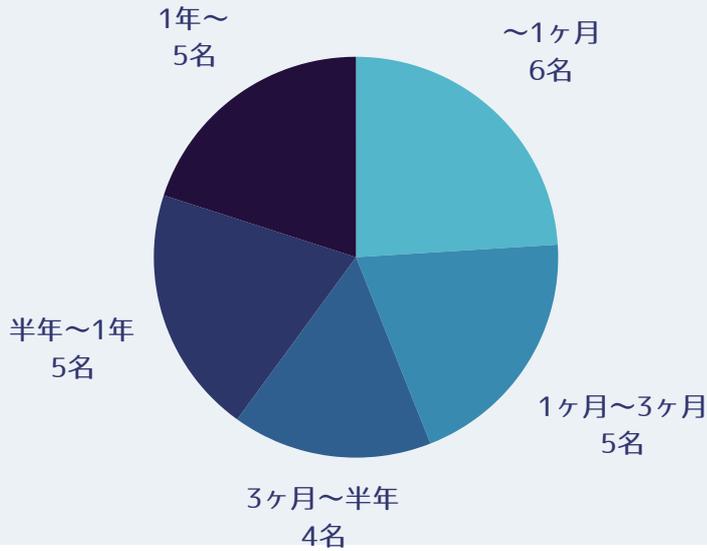


0 1  
0 2  
0 3  
0 4  
0 5  
0 6  
0 7



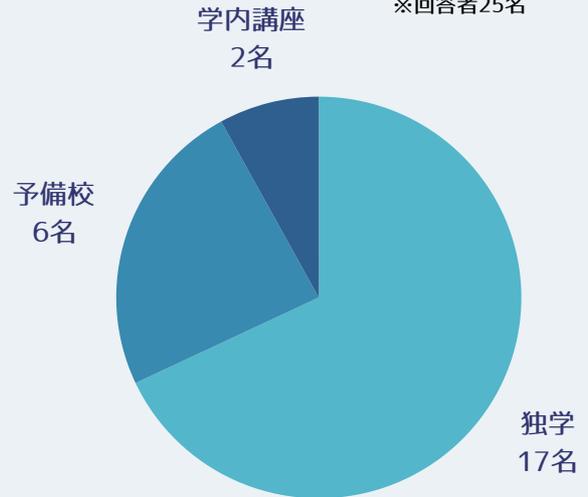
## 勉強期間

※回答者25名



## 勉強方法

※回答者25名



### 【受験区分の選び方】

- 大学や院で学んだ分野・専攻と一致しているものや、興味を持って勉強できそうなものを選んだ。
- 過去問を踏まえ、解きやすそうなものを選んだ。
- 民間就活にも取り組みたかったため、早めに合格すべく、秋に行われる教養区分を選択した。
- 法律区分では、財政法・財政制度のみを選択し、経済分野の勉強を避けた。
- 対策に遅れを取っていたため、あえて過去問が存在せず対策を立てにくいデジタル区分を選んだ。

### 【大学の講義、研究、サークル活動、アルバイトとの両立】

- 公務員試験の受験を見据え、卒業単位を計画的に取り、勉強計画を綿密に立てた。
- 休日や帰宅後に勉強時間を必ず確保し、通学時間などの隙間時間をうまく使った（電車の中で数的処理を解き、休日に教養試験・専門試験の過去問を解くなど）。
- 大学・院でも、公務員試験を意識して勉強に励んだ（憲法や民法など法律系の科目を取る、日々の研究において自分の考えをまとめる癖をつけるなど）。
- アルバイトは最低限の欠勤で済むよう、年度替わりのタイミングで曜日変更の申請をした。

### 【使用した参考書】

- 過去問（過去問500やスー過去、人事院に請求した過去問など）
- 予備校や学内講座のテキストや問題集（『TACシリーズ』など）
- 市販の教科書や問題集（『畑中敦子の数的推理・判断推理』や『集中講義！の過去問』シリーズ、時事対策本など）
- 学部の講義ノート
- 大学入試で使った教科書や問題集
- 資格試験の問題集など（法律区分では司法試験、行政書士試験用など）



0 1

0 2

0 3

0 4

0 5

0 6

0 7

## 筆記試験対策（基礎能力・専門択一・記述）

### 【勉強方法・試験攻略】

- 過去問を解き、間違えた問題や理解が浅かった部分を何度も復習した。
- 過去問を用いて試験中の時間配分や解く順番を考えた。例えば、後半にある社会や法律系の問題は素早く解いて、前半の現代文や英文に時間をかけるなど。
- 全てのジャンルを完璧にしようとするとう時間的にも能力的にも厳しいので、自身の得意・不得意に応じてメリハリをつけて対策し、全体で目標点に達することを目指した。
- 常に目標点数を意識し、確実に点数を獲得できるよう、分からない問題を捨てる訓練を徹底して行った。
- 基礎能力試験対策として、大学受験の際に使ったテキストを使ったり、数的処理などのテキストを繰り返し解いていた。時間制限を意識して問題に取り組んでいた。
- 専門試験対策として、インプットとアウトプットを繰り返し行った。択一对策のインプットの際に記述を意識した勉強をしておき、一次試験後の対策に活かした。

### 【その他アドバイス】

- 本試験の過去問は非常に練られていて、ひっかけ方に慣れたり、高い精度で復習できるためおすすめ。
- 公務員試験の合否は最終的な合計点で決まるので、自分の得手不得手を知って合格のために必要な対策を考えることが重要。例えば、自分が苦手な地歴公民は出題数が非常に少ないため、配点の大きい理系分野で合格ラインに届くように準備した。
- 技術系院卒区分で受験する場合、専門択一試験対策はかなり重要。配点比重もさることながら、専門記述試験の対策にもなるので、丁寧に苦手分野を潰していこう。
- 机に向かう元気がない時は、公務員試験対策塾のユーチューブチャンネルが出している時事問題のまとめ動画を見たりして、気分転換すると良い。
- 配点や出題傾向を詳しくまとめたブログなどを参考にすると、試験の全体像が分かるので不安が和らぐ。

01

## 試験当日について

02

### 【試験当日のエピソード】

- 受験票を期間中に印刷し忘れてしまい、当日発行していただいた。
- 数的処理でむずかしい問題に時間をかけすぎてしまい、制限時間ギリギリに解き終えることとなった。自分で決めた制限時間をオーバーしたら潔く次の問題に進むよう、日ごろから意識して演習した方が良い。
- 二次試験は政治系を選択しようと考えていたが、対策が手薄な所が出たので解く科目を変えるなど工夫した。

03

04

05

### 【その他アドバイス】

- 長丁場なので、快適に過ごせる服装にしたり、お菓子を持って行ったりするなど、自分がリラックスできるような工夫をすると良い。
- 試験会場のトイレは混雑するので、トイレは試験会場に着くまでに済ませておくべき。
- 混雑や電車遅延等のリスクに備えるためにも、時間に余裕を持って、早めの到着を心がける。

06

07

## 政策課題討議試験対策

### 【事前準備】

- レジユメの型を調べたり構成を練ったりしておく。
- 内容よりも問いに対して「論理的に」応答できるかが重視されていると感じた。
- 提案する政策の根拠は、データ等に基づきしっかりと書くよう心がけた。
- ニュースや新聞を日々チェックして時事対策を行い、全体的な最近の動向や政策の方向性を知っておく。
- ニュースをもとに自分でテーマを決め、レジユメを20分で書き上げる練習をした。
- 模擬討議をたくさん行った。民間就活でのグループディスカッションや各省庁のワークショップ、就活支援団体のイベントなどで経験を積んだ。
- 1人で発表練習を行う際には発表をボイスメモにとり、主張の展開が論理的か再検討した。
- 短時間で自分の意見をわかりやすくまとめる練習をした。試験では、討論後に改めて個人の考えを聞かれるので、話し合いながらも自分の思考をまとめられるようにしておく。
- あまり知らない分野の話題が出た場合、自分が少数派になってしまった場合、全員の意見が一致してしまった場合、討議のまとめ役になった場合、なれなかった場合など、様々なパターンを想定しておく。

### 【討議のポイント】

- 参加者が発言した場合には、まず相手の話をまとめてから、自分の意見をのべるようにした。
- 議論の途中で、全体の方向性を整理する時間を取った。話の流れを追いつつ、自分の考えを明確にすることを意識した。
- 議論の流れを見ながら、指摘・議論されていない側面を挙げるなど、テーマを多角的に捉えられるというアピールができるとう良いと感じた。



01

## 企画提案試験対策

02

### 【事前準備】

- 事前に公開されている資料を読み込み、関連するトピックについて情報を集めた。
- 資料に基づいて様々なパターンの試験問題を予測して施策を練り、どの角度から出題されても対応できるようにした。
- ニュース等を見聞きする中で、政策のメリットやデメリットを考える癖をつけた。
- 友人と議論することで自分の意見を他の人に話す練習をした。

03

04

### 【レジユメの書き方やプレゼンのコツ】

- さっと読んでも理解しやすい構成となるよう心がけた。
- 施策の対象や実行主体は誰か、などのポイントを押さえて書く。
- 面接官からの質問にどれだけ真摯に論拠を持って答えられるかが重要だと思う。

05

06

07

## 政策論文・総合論文試験対策

### 【対策の仕方】

- 政治学、行政学、国際関係論、社会学を学び、政策論文にその発想や具体的な事例を取り入れることができるように努めた。
- ニュースや新聞を毎日読み、試験で出題されそうなトピックについてさらに詳しく調べ、論文の時どのように記述しようかを考えていた。
- 限られた時間内に、文章を論理的に書けるよう練習していた。字の丁寧さも意識していた。
- 書いた文章を添削してもらった。
- 普段から友人や先輩とさまざまな事について議論を行い、自分の意見を論理的に説明する練習をしていた。

### 【その他アドバイス】

- 白書や「骨太の方針」などは政策動向を押さえる上で有効。
- 作問者の著書を読むと良い。



## 人事院面接対策

### 【面接カード】

- 面接カードはスペースが限られているので、端的で分かりやすい記述を心がけた。
- 面接で深掘りされるポイントを想定し、構成や内容を工夫した。
- 単に事実の記載に留めるだけでなく、成長をアピールすることを心がけた。
- 国家公務員としても求められるようなスキル（企画力、協働力など）の獲得に繋がった経験について書いた。
- 第三者（大学の就職指導課やキャリアセンターの職員、友人など）に添削してもらった。

01

### 【面接練習】

- 質問のほとんどは面接カードの内容に沿って行われるので、書いた内容を覚えておき、口頭で説明できるようにしておく。
- 予備校の講座で教えてもらった「よく聞かれる質問」や、自分の面接カードの内容をもとに想定問答を用意した。
- 深掘りに備え、面接カードに書いていないエピソードもいくつか準備しておいた。
- 大学の就職指導課やキャリアセンターの職員、予備校の先生を相手に、面接の練習を行った。
- 1人で面接練習を行う際は、鏡やスマートフォン等で自分の表情を確認しながら受け答えを練習した。
- 面接の所作を事前に練習しておき、本番でもスムーズに動けるようにしておくが良い。
- 面接は場慣れすることが大切なので、民間就活での経験も役に立つ。

02

03

04

05

06

07

## 人事院面接対策当日のエピソード

### 【当日の流れ・受け答え】

- 3人の面接官が、面接カードに沿って順番に質問してくる。圧迫感はなく和やかな雰囲気、想定内の質問が多かった。
- 面接カードに書いてあるエピソードの他に、別のエピソードがあるかを問われることもある。1つの結論に対して、複数のエピソードを用意しておくが良い。
- 組織における自分の役割や特徴について客観的に説明するよう求められた。自己分析の際に、自分について周囲の人々がどのように捉えているのか話を聞いておき、それを説明できるようにしておくが良い。
- 想定外の質問が来た際には、質問を繰り返したりして時間を稼ぎ、相手の本意に沿った答えを提示できるように心がけた。常に冷静さを保つことが重要。
- 面接にかかる時間は面接官や受験者によって大きく異なるので、短時間の面接になってしまっても気にする必要はない。
- 待ち時間には面接カードのコピーを見直し、面接での受け答えをイメージトレーニングしていた。
- 待ち時間が長く（順番によっては4時間近く待つことになる）、お昼をはさんだが昼食の時間もなかったので、集中力を保つのが大変だった。時間を潰せるよう、本や参考書を持参すると良い。

### 【総合職試験にまつわるアドバイス】

- なぜ「国家総合職」を希望するのか、志望動機をしっかりと深掘り、自分の言葉で説明できるようにしておきましょう。官庁訪問でも重要になってきます。
- 常にモチベーションを高く保つことはむずかしいですが、そんな時はぜひ文部科学省（または他の志望省庁）のイベントに参加してみましょう。すてきな職員の方々や、同じ志を持つ方々のお話を聞くと気合いが入ります。
- イベント等を通じ、受験者同士で繋がりを作ると良いと思います。情報交換や試験対策を一緒に行ったり、悩みを相談できたりと、大きな支えになります。

01

02

### 【コラム:「教養区分とは？」】

国家総合職試験の大卒程度試験には、法律、経済、工学、デジタルなど様々な区分がありますが、今回はその中でも教養区分について取り上げます。上記の試験は、春に試験が行われていますが、唯一、教養区分は秋に試験が行われています。秋に試験が行われていることから、春の試験に比べて民間就活との両立がしやすいという意見もあり、近年受験者数も合格者数も伸びている受験区分です。

03

04

今回の内定者を見ても、大卒程度事務系の15名中8名が教養区分での合格者と大きな割合を占めています。

05

春の試験では一次試験に多岐選択式の基礎能力試験と専門試験、二次試験に記述式の専門試験と政策論文試験、人物試験が行われています。教養区分の試験では、一次試験に多岐選択式の基礎能力試験と総合論文試験、二次試験に企画提案試験と政策課題討議試験、人物試験が行われています。

06

特に、二次試験には春の試験にはない、フレッゼンテーションやグループ討議などがあります。受験される方は、9ページの内定者の事前準備などを参考にしてみてください！！

07

The page features a teal background with a white dashed border. A central white rectangular frame is decorated with black and blue floral sprigs at the corners. The number '03' is displayed in white within the frame.

03

官庁訪問体験記



# 官庁訪問の概要

※施設系・技術系では、既合格者向けの官庁訪問が別途設けられています。

## 【官庁訪問の特徴】

- ・ 国家総合職試験の最終合格後、志望府省庁等に採用されるための重要なステップ。  
→ 試験最終合格 = 内定ではない。
- ・ 2023年度は6月中旬から下旬の約2週間で行われた。複数府省庁（基本上限3府省庁）に訪問可能。
- ・ 職員と受験者の1対1の面接が基本。
- ・ オンラインも人事院のルールに則り対応（2023年度）。

※官庁訪問の最新情報については必ず人事院ホームページをご確認ください。  
※すべて2023年度の文部科学省官庁訪問の情報であり、毎年変わり得ます。

## 【クール制】※全府省庁共通

### ○第1クール・第2クール

- ・ 第1志望から第3志望までの府省庁を1日ずつ訪問可能。
- ・ 必ずしも3日間全て回らないといけないものではなく、訪問する府省庁は1つや2つでもOK。
- ・ 第1クール・第2クールでは訪問する順番を変えることはできず、また、同一クール内で複数回同一府省庁に訪問することもできません。

### 第1クール・第2クール

1日目	2日目	3日目
A省庁	B省庁	C省庁

### ○第3クール

- ・ 第2クールが終わると訪問する順番がリセットされ、第1・第2クールで2日目以降に回った府省庁を第3クールで1日目に回することも可能です。

### 第3クール

1日目	2日目
A省庁	B省庁

### ○第4クール

- ・ 第3クールで訪問した府省庁に訪問するのが基本です。
- ・ 第4クールは1日のみです。
- ・ 第4クールを通過すれば内々定を獲得し、官庁訪問は終了となります。

### 第4クール

1日目
A省庁

## 【面接の種類】※全て2023年度の文部科学省官庁訪問の情報

### ○入口面接

- ・ 5分～10分くらいの短い時間で職員さんと1日の流れを確認する面接。ある時もない時もある。

### ○集団面接

- ・ 学生複数人（5人程度）×面接官複数人（3人程度）で行う。
- ・ 文部科学省の第1クール最初の面接は、事務系においては集団面接であることが多い。

### ○原課面接

- ・ 職員の方に業務についてのお話を伺うことが多い。

### ○人事面接

- ・ 人事担当の方に来訪者メモに沿って質問を受ける。民間の就職活動の面接に近いイメージ。
- ・ 原課面接のように、業務についてのお話を伺うこともある。

### ○グループディスカッション

- ・ 学生4人程度が1グループになる。テーマを与えられ、制限時間内で議論して発表する。（訪問日によってはグループディスカッションがないこともあった。）

### ○出口面接

- ・ 1日の面接の評価が告げられる面接。志望度や他府省庁での選考状況を聞かれることもある。

01

02

03

04

05

06

07

# 官庁訪問のとある1日

## 【1日のスケジュール】

気になる官庁訪問について、事務系内定者2名が実際に経験した官庁訪問期間中のとある1日を再現してみました。面接の種類については前のページをご覧ください！

※下のスケジュールは一例であり、面接の時間や回数は人によって異なります。

	事務系①	事務系②
集合時間	9:00	9:00
	①原課面接(25分)	①集団面接(45分)
昼食休憩	60分	60分
	②原課面接(40分) ③原課面接(60分) ④人事面接(15分) ⑤人事面接(20分)	②原課面接(30分) ③原課面接(30分) ④原課面接(30分) ⑤人事面接(30分)
夕食休憩	60分	60分
	⑥出口面接(15分)	⑥出口面接(15分)
退庁時間	19:00	20:00
	帰宅	帰宅

## 【コラム：グループディスカッションの1日(事務系ver.)】

9:00 集合

指定された班ごとにわかれて自己紹介(10分程度)

グループディスカッションの課題発表とその説明(20~30分程度)

グループディスカッション(80~90分程度)

各班発表(20~30分程度)

昼休憩

午前中に詰まってきました…！  
説明を聞く段階で内容を整理しながら  
論点を考えるのが大変！

# 官庁訪問のとある1日

## 【1日のスケジュール】

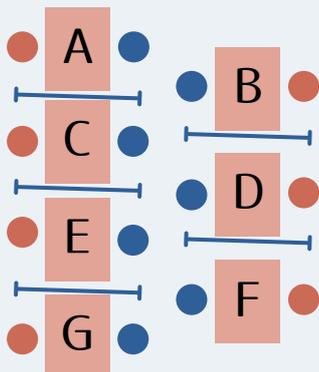
気になる官庁訪問について、**技術系**内定者が実際に経験した官庁訪問期間中のとある1日を再現してみました。面接の種類については2つ前のページをご覧ください！

※下のスケジュールは一例であり、面接の時間や回数は人によって異なります。

	技術系 (通常期)	技術系 (既合格者)
集合時間	8:45	9:15
	①点呼 ②フース面接(30分) ③フース面接(30分)	①点呼(入口面接?) ②フース面接 ③フース面接 ④フース面接 ⑤フース面接
昼食休憩	60分	60分
	④フース面接(25分) ⑤フース面接(25分) ⑥フース面接(30分) ⑦フース面接(30分)	⑥フース面接 ⑦フース面接 ⑧フース面接 ⑨フース面接 ⑩フース面接 ※フース面接は各20~25分
退庁時間	19:20	18:00
	帰宅	帰宅

### 【コラム：フースの様子】

●…面接官 ●…受験者

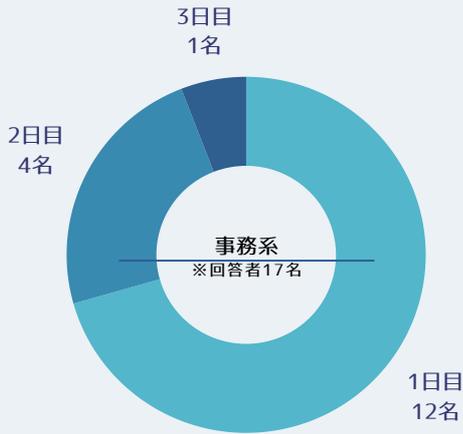


### 【コラム：グループディスカッションの1日(技術系ver.)】

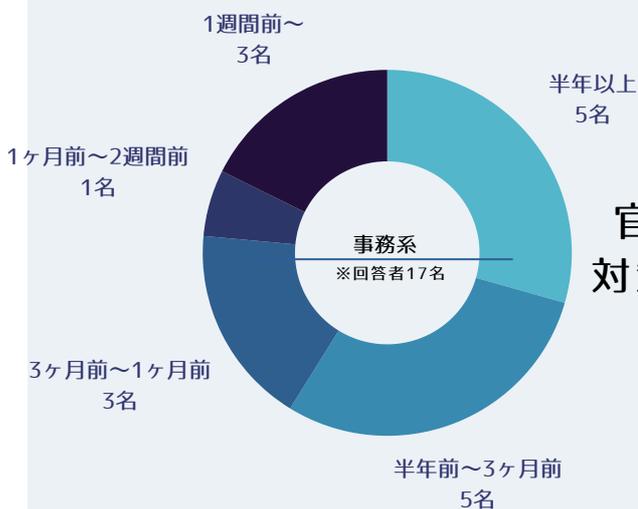
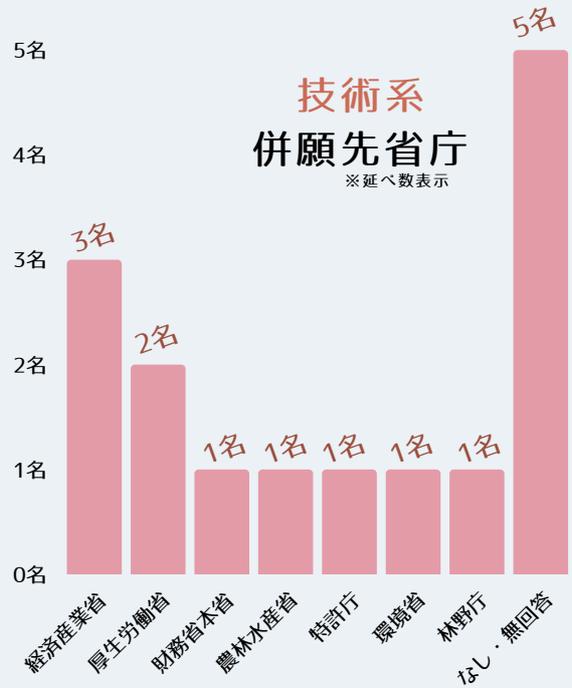
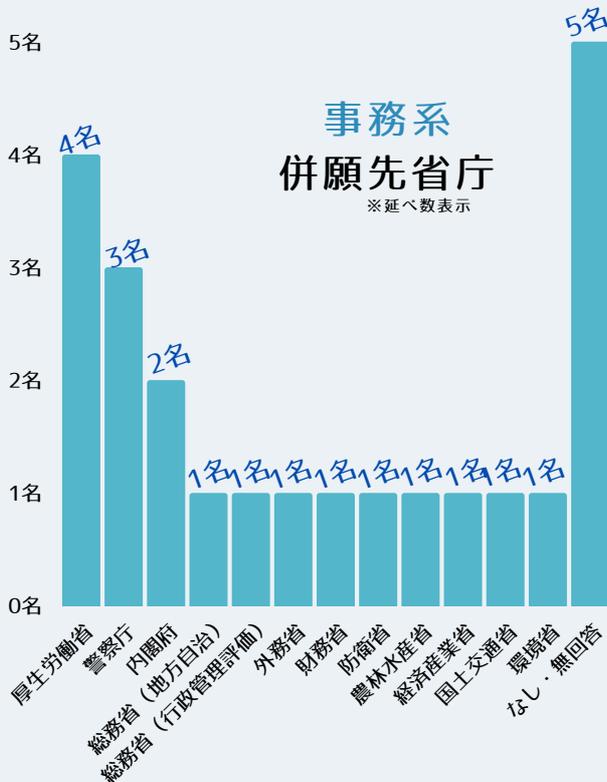
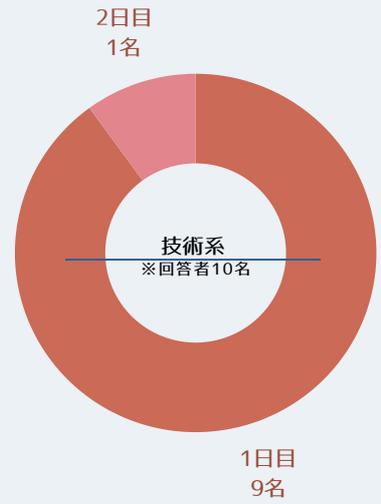
- 9:45 集合
- 10:00 班ごとに自己紹介とチーム名決め(90分)
- 11:30~12:30 昼休憩
- 12:30 グループディスカッションの課題発表とその説明(30分)
- 13:00 グループディスカッション(120分)
- 15:00 各班発表(60分)
- 17:00~18:30 1人ずつ呼ばれてそのまま解散



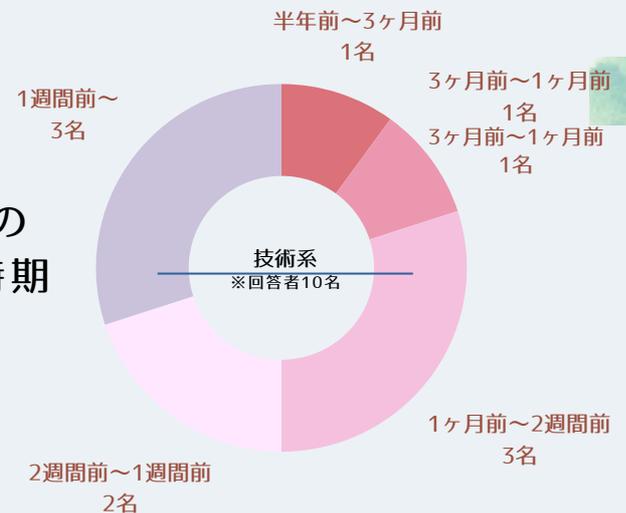
# 官庁訪問統計



## 第1クールでの 文部科学省訪問日



## 官庁訪問の 対策開始時期



0 1  
0 2  
0 3  
0 4  
0 5  
0 6  
0 7



# 官庁訪問体験談

官庁訪問の準備から当日まで、内定者から寄せられた色々な体験談を時系列順に紹介します！

## 1. 来訪者メモについて

「来訪者メモ」とは、官庁訪問へのエントリーの際に提出するエントリーシートのようなものです。官庁訪問におけるあらゆる面接で、常に面接官に参照されることとなります。資格等の情報や志望動機だけでなく、政策提言の欄があることが大きな特徴といえます。全員共通の事前準備として用意するのはこの「来訪者メモ」だけであり、またかなりたくさん書くことができるので、官庁訪問準備のうちの大きなウェイトを占めます。メモの項目ごとに、執筆時の体験談をご紹介します！

### ①「志望動機」について

(事務系・技術系共通)

- ・「なぜ？」を大事に
  - 文科省に興味を持った理由→関心分野の流れで書いた。／「なぜ？」を3回繰り返す(自分の考えをとりあえず書き起こした後、「なぜそう思うの?」と自問する→自答する、を3回繰り返す)。頭の中にある考えを抽象化して言葉に表すことができます。／自分がどんな未来を作っていきたいのか、そのためになぜ文部科学省でなくてはならないのかが伝わるようにした。／なぜその課題に取り組みたいのかを自分自身でも納得して話せるように意識した。
- ・素直な気持ち
  - 参加した説明会を通して感じたことを素直に書いた。／関心分野と結びつけて書く仕様だったので、素直に自分の思いを書いた。
- ・原体験に立ち返り、具体的に！
  - 具体的な原体験と抽象的な志望動機を結びつけて考えた。／面接などで関連するエピソードを話せるように、自分の経験や思いを具体的に書くよう意識した。
- ・自分の理念と文科省のビジョンを踏まえて
  - 自分が理念としてもっているもの(「子どもたちを幸せにしたい」「経済をよくしたい」など)を明確にしたうえで、文科省の各所掌分野からその理念を達成させるビジョンを描くのが大事です！／事前に参加していた説明会などで知った省庁の理念や考えとマッチするような志望動機の作成に努めました。

### ②政策提言について

(事務系・技術系共通)

- ・政策提言のまとめ方
  - 自分が何を問題に感じていて、その理由は何で、どのようにアプローチするのが適切かをまとめた。／自分は前二日が文科省志望者としてかなり異色だったので一貫性を意識した話題にした。具体的には教員を支えるという視点で、警察官や自衛官の働き方、人手不足改善とリンクさせて書いた。／何故その政策が今まで実施されてこなかったかの原因とその対策まで考えて記述した(実際官庁訪問のときに質問された)。
- ・自分のことに絡めて
  - 一般論にならないように、自分の経験に基づいた提案を心がけました。／変に壮大なことは書かず、自分の専攻・志望動機と絡めて書いたことで、人事面接・原課面接でそのことについて聞かれた際にスムーズに受け答えできた。／自分が社会の中で何を課題だと感じているのか、どんなことに関心があるのかが伝わるように書いた。
- ・不完全であることを自覚する
  - 「完璧な政策」でないことに留意し、本政策提言の魅力、長所だけでなく、限界や短所などについても研究し、面接のときに答えられるようにした。／どんなに不十分で不完全なものであっても矛盾はしないように気をつけた。

01

02

03

04

05

06

07



## 官庁訪問体験談(続き)

### (事務系)

- 論理構成を明確に
  - レイヤーを意識した。抽象→具体、大→小の階層で分けて考えるようにしていた。ノ詳しい政策では担当者の方には太刀打ちできないので、論理構成だけスッキリさせました。

### (技術系)

- 幅広い視点を持って
  - 所掌分野についてできるだけ横断的に指摘した提言となるように意識した。ノ自分の政策提言が既存の政策などと被らないように既存の政策については特に気をつけて調べた。
- 院生ならではの目線
  - 現役の大学院生は大学研究室の現状を肌身で感じているという強みがあります。そういった等身大の目線を大切にアイデアをまとめてみてください。

### ③全体を通じて

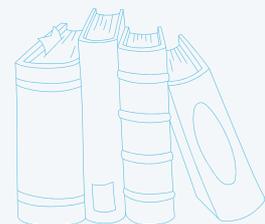
#### (事務系・技術系共通)

- 友達や先輩と話してフラッシュアップ
  - とにかく人に見てもらった。自分では違和感がなくても、他の人から見ると分かりにくいといったことが思った以上に多かった。ノ先輩や志望者にたくさん相談した。相談の中で考えを言語化するプロセスが必ずあるので自分に向き合う機会になる。ノ大学の就職指導課の相談員に添削をお願いし、変な表現がないか伝わりづらくなっている部分はないかなど入念に確認しました。
- 繋がり・一貫性を意識
  - 志望動機と政策提言が繋がるように考えました。ノ自分の経験談と政策提言が密接に繋がるように意識した。

### 【コラム：官庁訪問対策として読んだ本】

今年度内定者が官庁訪問対策として読んだ書籍等を紹介していきます。参考にしてみてください。

- 書籍
  - 『職業としての官僚』（嶋田博子著）
  - 『公務員という仕事』（村木厚子著）
  - 『速攻の時事』（資格試験研究会編）
  - 『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』（大賀英徳著）
  - 『教育制度を支える教育行政』（青木栄一編著）
  - 『文部科学省一揺らく日本の教育と学術一』（青木栄一著）
  - 『教育政策・行政の考え方』（村上祐介・橋野晶寛著）
- 書籍以外
  - 白書
  - 新聞の記事
  - 予備校の官庁訪問体験記



01

02

03

04

05

06

07



# 官庁訪問体験談(続き)

## 2. 面接の様子

官庁訪問での面接について、準備から当日のようすまでを振り返ります！

### ①面接の準備について

#### (事務系)

- ・ 職員訪問の機会を活用した。職員訪問でのやりとりは官庁訪問での面接に通ずる部分があるので、官庁訪問の事前練習のつもりで職員訪問に臨んだ。
- ・ これまで説明会でいただいた資料などを振り返り、どんなことに関心を持っているのか、どんなことをしたいのかなどについて、熱意をもって話せるよう、準備していった。

#### (技術系)

- ・ 定番の逆質問を2,3個用意していきました。

### ②面接本番で聞かれたこと・印象的だったこと

#### (事務系)

- ・ 第3クールにて、第1・第2クールを経て学んだことや考え方が変わったことについて聞かれた。官庁訪問を通じた成長について見られていると感じた。
- ・ 「教育の役割とは？」非常にベタな質問なのですが、まじめに考えるととてもむずかしい問いだと改めて思います。わたしは、多面的に社会学習としての役割を主に担うと答えたのですが、本当に現代社会を生きていく上での力をつける役割を今の学校教育は担えているかと再度問われました。その後も様々な角度からお話したのですが、話せば話すほど自分の考えの浅薄さがあらわになり反省すると同時に、斬新な発想にも触れることができ、わくわくしました。
- ・ 面接官の方が最近読んだ本を出発点にZ世代のキャリア形成意識について聞かれた。
- ・ 政策提言について、予算の付け方や自治体ごとの違い等について指摘され、自分の想像力の無さに絶望するとともに、国の仕事のむずかしさを感じて、頭を抱えた。
- ・ 「教育の中身をどう変えたいかについての考えはありますか？」と質問され、義務教育を媒介として子どもの貧困等にアプローチすることを主眼に置いていた当時の私は、明晰に答えることができませんでした。
- ・ 笑顔を大切にアドバイスいただいたこと。

#### (技術系)

- ・ 経済政策と科学技術政策どちらを優先すべきか？
- ・ 優秀な研究者とはどのような研究者か？
- ・ 「ビジネスへの応用がむずかしい基礎分野の研究振興をいかに進めるか」面接官の方も基礎研究に従事していらしたことから、個人的に関心の高い課題だったこともあり、意見交換ができて非常に勉強になりました。
- ・ 人事面接で「官僚は交渉することが仕事だから、僕が〇〇さん採りたいと思えるように、今から私に交渉してみてくださいよ」と言われたことです。
- ・ 面接の最初に「英語で1分間自己紹介してください」と言われて自己紹介したこと。

01

02

03

04

05

06

07



## 官庁訪問体験談(続き)

### ③面接で意識したこと・工夫したこと

#### (事務系・技術系共通)

- 職員の方とのコミュニケーション
  - 自己紹介をするつもりで一つ一つの面接に臨んだ。ノ質問→答え、で話が終わってしまわないように会話のキャッチボールを意識した。自分が気になったことを素直に伝えるようにしたら、面接官の方が乗ってきてくれて楽しかった。ノ逆質問のとき、ただ質問するだけにならないように、自分の考えを述べてから相手の意見を伺うようにした。ノ聞かれたことに対して即答できないこともあったが、少し時間を頂いてきちんと質問の趣旨に答えられるように心掛けた。ノ原課訪問の際には、自分で職員さんの業務内容を他の受験生に説明できるくらいの理解度になるように質問をすることを心掛けました。
- 面接を通して学ぶ
  - 官庁訪問は学びの場であると思うので、そこで得た知識をすぐに志望動機や政策提言に反映させていました。ノ各面接を通して、自分の意見がどう深まったか、どう変わったか、何を吸収できたかは意識的に振り返りを行い、次の面接に活かしました。ノ(他の方より文部科学省を志望し出した時期が遅かったため)面接を重ねながら、自分の志望動機・文部科学省でやりたいことをフラッシュアップしていった。ノメモは取るようにして、原課面接で他の職員から頂いた知見を活用することができた。

### ④評価されたと思うこと

#### (事務系・技術系共通)

- 態度
  - 熱意、常に学ぶ姿勢、臆せず議論をすること。ノ文部科学省に入りたいという情熱が伝わったのではないかと思う。
- 官庁訪問を通じての成長
  - 面接を重ねるごとに自身の考えをフラッシュアップしていったこと。ノ3日目だったので開始時に教育行政などの知識量があまりなかったが、官庁訪問期間中に原課面接や自習で勉強し、そこも成長として評価されたと思う。

#### (事務系)

- 素直で前向きな姿勢
  - 自分のスライドや内面的な葛藤などを、率直に答えた点が評価されたと思います。ノある程度理詰めで話せたことと、相手の指摘を素直に受け入れる姿勢。ノあまり緊張しすぎず、会話を楽しむくらいの気持ちで臨んだことが個人的には良かったと思っている。ノ文科省採用活動への感謝の姿勢。
- 価値観の共有とその言語化
  - 省庁が持つビジョンや課題意識、重視する価値観を共有していると認めていただけたこと。ノ(官庁訪問まで気づけなかったことも多いのですが、)私の興味関心が想像以上に文部科学省とマッチしていた点も大きかったと思います。ノ官庁訪問を通じて得たものをきちんと言語化して伝えることができたこと。自分がなぜ文科省職員になり教育行政をやりたいのかという問いへの答えを常に模索し続け、面接の中で確信を強めることができたこと。

#### (技術系)

- 知識に基づいた自己アピール
  - イベントや職員訪問で文部科学省の取り組みについての知識があったこと。さらに、その方向性を理解した上で自身がどのように貢献できるか伝えられたこと。

### ⑤アドバイス

- 面接を楽しもう！
  - 職員の方々とお話できるせっかくの機会なのでとにかく楽しみました。就活生のみなさんもぜひそういう気持ちで臨んでください！ノ楽しむ。全部吸収して帰るつもりで挑む。
  - とにかくたくさん面接をしたので、最初のほうは緊張していましたが、だんだんと緊張していても始まらないなという心境になり、最終的には、①とにかく楽しくお話を聞く、②自らの知的好奇心に従い質問をする、③最低限のマナーは守る、の3つを半ば無意識でしていました。自分の知りたい！という欲求に従えば、自分自身も楽しいですし、相手の方にも自然と自分の興味関心や人柄が伝わると思います。

01

02

03

04

05

06

07



# 官庁訪問体験談(続き)

## 3. グループディスカッションについて

官庁訪問当日には、面接の他にグループディスカッションが行われました。形式やその時の心境について振り返ります。

### ①形式・雰囲気など

#### (事務系)

- ・ 緊張感があった
  - 選考目的のものであったので、試験官も多く緊張感はあった。ノ資料をしっかりと読み込む時間はなく、ざっくりとした資料の説明を受けるときに概観をつかまなければいけない。
- ・ 和やかな雰囲気
  - 説明会などで実施されるグループディスカッションと同様の形式で、ホワイトボードを使って政策提案するものだった。ノとても和やかな雰囲気、周りの学生から出てくるアイデアのおもしろさにワクワクした気持ちになった。職員の方から講評をいただいて勉強になった。

#### (技術系)

- ・ 議論に集中
  - 技術系総合職では3日目に実施されました。10人の受験者が3グループに分かれ、2時間くらい議論し、発表しました。議論時も各班1人の面接官がついていて、適当な時間でローテーションし、違う面接官の方がメモしていました。ノ試験監督の出入りが頻繁にあります、そちらはあまり意識せずにグループメンバーとの議論に集中するといいです。
- ・ 和やかな雰囲気
  - 自己紹介から始まりグループ名を決めたりと全く選考されている雰囲気を感じなかった（が実際にはきちんと審査されており不合格者も出ていた）。
- ・ 自分のタイミング
  - 昼食も班の人と過ごすことになっていた、自分のタイミングで息抜きを入れて気分転換できるように気をつけました。

### ②意識していたこと

#### (事務系)

- ・ 議論の流れや認識の共有
  - 議論が発散しがちになるので、何について話し合うべきかを常に意識した。ノみんなで同じ方向・認識を持ってディスカッションすることが大切なので、まずその「ディスカッションの目的」をグループ内ではっきりさせること（一つの提言にまとめるのか、意見を出し合うだけなのか、ディベートなのか、目的によって自分の立ち回りがかなり変わってくるため）。先にディスカッションクエストを決めると良い。ノ資料からの根拠と論理を意識できたのは、コンサル就活をして結果的に良かったことだと思う。しかし、議論の進め方をテンプレートに当てはめすぎた点は反省点だと感じている。
- ・ 多様な意見
  - 多様な意見の表出を重視すること。場合によっては時間が足りずに結論が出ないこともあるかもしれないが、結論を出すこと以上に他者の意見に耳を傾け、それらに対する自分なりの考えを表現していくことを重視した。

#### (技術系)

- ・ 他者との関わり
  - 少人数でのディスカッションでしたが、あまり発言していない人に話を振ってみることはしたと思います。ノ意見の素晴らしさより、他者との関わり方を審査される場だったように思います。ノみんなが発言しやすいような雰囲気作り。ノ方向性がずれたなと感じたときも、否定からは入らずにワンクッションの肯定の言葉を入れることを意識しました。
- ・ 議論の流れ
  - 議論の種となるアイデアをできるだけたくさん出すことに努めた。ノ挙げた問題意識の中から時間内に解決を導けるものをピックアップした。ノ定期的に議題やその時話している内容について論点を整理するなど脱線しないように意識しました。

01

02

03

04

05

06

07



## 官庁訪問体験談(続き)



### 4. 控室での過ごし方

官庁訪問では長い面接の待ち時間を控室で他の就活生とともに過ごすことになります。自分に向き合う時間も必要ですし、心穏やかに過ごすための工夫も必要になるでしょう。ということで、控室での過ごし方やエピソードをご紹介します。

#### (事務系)

- ・ 待ち時間が長いので、控え室では他の人と情報交換をしていた。
- ・ 面接の話でメモしきれなかったことを書いたり、質問を考えたりしていました。待ち時間があまりなかったので、それ以外の時間はリラックスしていました。
- ・ 控え室では周りの人との会話を楽しんだ。官庁訪問を通じて、他省庁とすごく悩んだが、控え室でそのことを相談したり、思いを語っている中で、自分の気持ちが整理され、決断ができた。

#### (技術系)

- ・ 早朝から夕方まで行われる長い選考なので、息抜きを忘れずに自分らしくいられるといいと思います。控え室ではかなり和気藹々と過ごせたので、雑談してもいいしお互いの訪問者メモを交換して読むのも面白かったのでおすすめします。
- ・ はじめの方は前回の面接を振り返っていたが、待ち時間が長いと他の受験者の方と話して情報交換をしたり雑談をしたりした。選考が進むにつれて戦友のように仲間意識が強まっていった。
- ・ 控室では研究の話で盛り上がっていました笑

### 【コラム：持って行ってよかったもの】

#### 【面接準備に】

- ・ 説明会や官庁訪問準備で使っていたノート（多数）
- ・ メモ帳（多数）
- ・ 説明会でもらった資料を全部入れたファイル（待ち時間の読み物兼お守り）
- ・ i Padやノートなど官庁訪問の質問や指摘をまとめるもの

#### 【暑さ対策】

- ・ 扇子
- ・ ボディシート・汗拭きシート（ベタつかないもの）
- ・ ハンディタイプの扇風機

#### 【体調管理・栄養補給】

- ・ 頭痛薬
- ・ 絆創膏（パンプスの靴ずれ対策）
- ・ メガネ（コンタクトの人は特におすすめしたい）
- ・ 栄養ドリンク（食欲がわかない時のエネルギー補給源）
- ・ 水筒（控室近くにウォーターサーバーがありました）
- ・ のど飴（結構話すので口・喉が疲れる。糖分補給にも）

#### 【身だしなみ】

- ・ 予備のストッキング
- ・ 服のほこりとりローラー

#### 【その他】

- ・ 小銭（控室のあるフロアには自動販売機しかなかったため）
- ・ パソコン（パソコンで解析をしていました）



01

02

03

04

05

06

07



# 官庁訪問体験談(続き)

## 5. 成功・失敗談

ここまで出ていない話題を中心に、内定者たちのエピソードを成功談・失敗談に分けてご紹介します！

### ①成功談

#### (事務系)

- ・説明会・職員訪問・関連分野の書籍を読むこと、政策への理解と省庁ごとのビジョンや重視する価値観の違いを調べることなど、官庁訪問前の準備段階で自分の関心や知識、課題意識、対話力を磨き続けたことが当日の面接に生きたと思う。
- ・面接が立て続けにあったので、あまりしきりを引きずらなかったことはよかったです。また、前の面接の内容と組み合わせて新たな質問が生まれたことも多かったので、疲れましたが、結果的にはよかったです。
- ・教育行政分野について網羅的に勉強し、自分の考えをある程度持っていったので、職員さんの話についていて、さらに深掘りするような逆質問ができた。

#### (技術系)

- ・職員さんからの質問や指摘などを全てメモしていたので、官庁訪問中に自分の考えを洗練させることができた。官庁訪問では、科学技術政策に関連する3省庁を訪問したので、多角的に科学技術政策を俯瞰することができて非常に勉強になった。

### ②失敗談

#### (事務系)

- ・初日に緊張しすぎて、長時間文科省にいたのにその間水しか飲めなかった。(終わった時にはフラフラ。栄養補給は大事！)(※昼食・夕食の時間はちゃんとあるのであくまで個人の問題)
- ・私は文科省単願だったが、同期の話や同期の話を聞いてみると他省庁を見てみるのも重要だと感じた。比較対象があるのとならないのでは、業務内容についても職場としての雰囲気についても本質的な理解には至らないこともあるなと。
- ・リクルートバッグが小さすぎて、往々にしてモノがはまらなかったことです。暑かったので、飲み物や軽食も持って行ったのですが、資料などでパンパンでした。
- ・来訪者メモは余裕を持って用意した方が良い。

#### (技術系)

- ・3省庁とも早朝から夕方まで拘束されるので体力的にもきつく、週末の方は集中力が切れていた時もあった。
- ・官庁訪問期間中は朝から夜までつきっきりの生活になるため、体調を崩しやすく、体調を崩すと取り戻すのが大変なことになる(なった)。
- ・名刺入れを携帯すべきでした。私は持っていなかったので、名刺をいただいた際にはメモ帳にしまっていたのですが、「落としてなくさないでね？笑」と心配されました笑

01

02

03

### 【コラム：官庁訪問中の休日の過ごし方①】

各クールの間や土日は休みになります。準備にあてるもよし、リフレッシュにあてるもよし。内定者の官庁訪問中の休日について聞いてみました。

04

#### 【やっぱり休養】

- ・疲れが溜まりすぎていて、ずーっと寝ていました！

05

#### 【対策・考えの整理】

- ・官庁訪問間の土日に、現役職員の同級生と会って、自分が行政について思っていることを話したのは気晴らしと、動機などの気持ちの整理になったと思う。
- ・友達と面接対策しました。

06

07



# 官庁訪問体験談(続き)

## 6. 官庁訪問に向けてのアドバイス

- 情報に振り回されないで！
  - 公務員試験・官庁訪問については情報が錯綜しており不安になることも多いでしょうが、真偽不明の情報に振り回されてメンタルに影響が出るとよくありません。何よりも、気になる省庁を見つけたらできるだけ早く説明会や交流会などに参加し、可能な限り多く出席すること、そしてその場で積極的に質問や意見交換をすることで、その省庁の基本的な政策や職員の方の雰囲気、重視している視点、自分に合っているかどうかを理解することができます。官庁訪問でも職員の方とお話したり政策について伺う機会はありますが、その前から政策の知識を深め対話する経験を積むほど、官庁訪問当日の面接でも役に立つでしょう。
- 志望順（訪問順）は大事にしよう！
  - おすすめできることかは微妙ですが、私は、自分の思考の整理や訪問への準備時間の確保を考えて、第2クールから文科省のみにしぼっていました。個人的には、結果として自分の考えをフラッシュアップでき、面接に繋がられたので良かったと思っています。あと、学事の関係で第一志望の文科省を2日目にまわりましたが、なるべく調整して1日目にまわることをおすすめします。面接でほぼ毎回志望度とまわり順について聞かれたので…特にそれが悪く働くことはなかったように思いますが、2日目だと、志望省庁が異なる受験者も増えるので、新しい知見を得るという意味では勉強になり良かったです。
- 無理せず身体を大事に！
  - ストレスからくる睡眠不足に備えるため、安眠グッズを用意しておくといいです。
  - 体調第一で臨んでください。私はちょうど半ばくらいで体調崩しました。期間中は自分に優しくするくらいでよいと思います。
  - とても緊張しますし、長丁場で体力も使いますので、健康に気をつけて、元気いっぱい臨んでください。
- 対話を楽しみたくさん吸収！
  - 志望者と語り合う時間がとても大事！その中で、自分の思考が言語化され、面接でもスムーズに話せる。
  - 現役の職員の方と一対一でお話できる機会は貴重です！選考の一環だと割り切ってしまうずに、新しい知見をどんどん吸収して成長する場にしてみてください。
- 最後まで楽しんで！
  - 細かいミスなど沢山するとは思いますが、面接官はそこまで気にしていなかったりするので、最後まで全力で駆け抜けてください！
  - たくさんの職員の方々とお話できるととても貴重な機会です。緊張すると思いますが、楽しむ気持ちを忘れないでください！

01

02

03

04

05

06

07

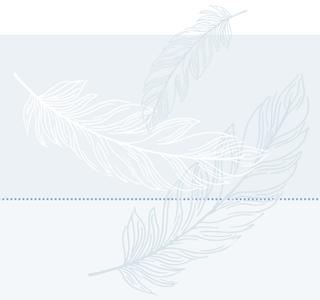
### 【コラム：官庁訪問の休日中の過ごし方②】

#### 【リフレッシュ！】

- 土日とはとにかく予定を詰め込んで、官庁訪問のことを考えないようにした。
- 人と会って気分転換。官庁訪問のことは考えずに好きに過ごすことでリフレッシュしていました。
- 自分と同じく官庁訪問中の同期（他省庁含む）に会って、雑談したり悩み相談したり。ストレス発散した。
- 漫画（ジョジョ4部）を一気読みした。
- 友人と人生相談。
- 人と会うと疲れることもあるので、一度はちょっと遠出すると良いかもしれません。私は何をしてもなく久里浜に行きました。
- 映画鑑賞、散歩。
- （地方出身のため）東京にいる親族に会う。

#### 【ご利益(?)】

- 親戚の結婚式に出席していました。幸せオーラをもらって次の日の官庁訪問に挑めました。これが内定をいただけた要因かも笑。



## 【コラム：官庁訪問中の宿泊先の選び方】

地方在住など、霞ヶ関から離れた場所に住んでいる人に官庁訪問中の宿泊について聞きました！

### 【滞在場所と理由】

- 新橋（JR、メトロ、都営線など多数路線乗り入れ）
  - 文科省まで歩いて行ける！
  - 地方出身者で、東京の電車の路線図に詳しくなかったので徒歩で行けるところにした。
- 赤坂
  - 赤坂見附駅からは銀座線と丸の内線の両方に乗れる
- 溜池山王（東京メトロ銀座線）
- 茅場町（東京メトロ日比谷線）
- 小伝馬町（東京メトロ日比谷線）

### 【金額】

交通費を除く滞在費用（食費、宿泊費）

- 6～10万円：2名
- 11～15万円：2名
- 16～20万円：2名

### 【選んだ基準】

- 霞ヶ関駅、虎ノ門駅から3駅以内
- 全行程合わせて30～40分で行き来できること
- 宿泊先は近ければ近いほどよいです。
- コンビニが近いと何かと安心(食事、ATMなど)。
- ある程度治安がよい。
- 近辺に夜遅くまでやっている食事処があること
- 大浴場がついているホテルにした（お風呂でも、サウナでもいいですが、頭を使わずにリフレッシュできる時間は大事だと思います！）

### 【アドバイス】

- 東京に友人が進学等で一人暮らしをしている場合は、その方の家に滞在させてもらえないか事前に交渉しておくことをお勧めする。東京のホテル代は極めて高額である。
- ホテル確保は1か月前には完了しておくこと。ホテルの部屋の空きはすぐなくなってしまう。
- 地方から来る人は官庁訪問前に一回ぐらい東京に行くと良いかも。私は官庁訪問が初めての東京だったので、不安でいっぱいでした。
- 集合時間は早く帰る時間は遅いため、素泊まりがおすすめ。

0 1

0 2

0 3

0 4

0 5

0 6

0 7



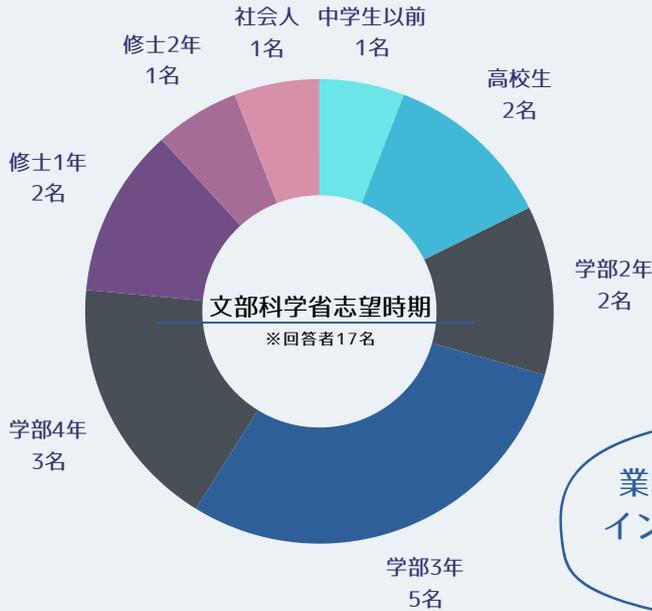
The page features a teal background with a white dashed border. A central white rectangular frame is decorated with black and blue floral sprigs at the corners. The number '04' is prominently displayed in white within the frame.

04

就職活動体験記

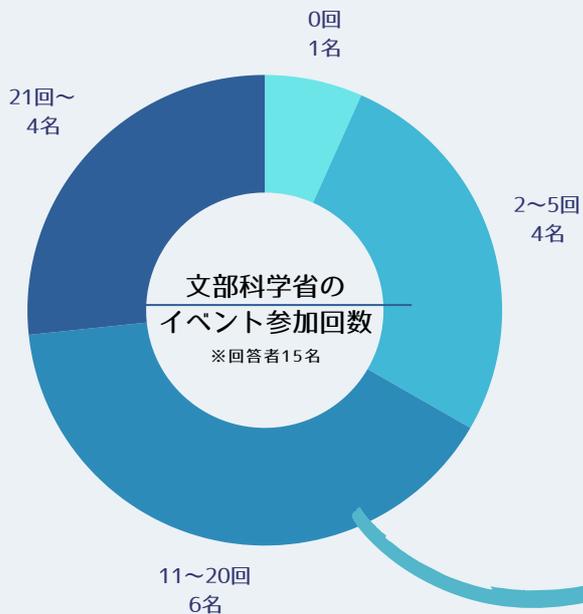


# 事務系 就活体験記



予想以上にまばらですね…！  
早い人は《中学生以前》から！

業務説明会はほとんどの人が参加！  
インターンを通じて仕事のイメージを  
具体化した人もいました！



## 【どのイベントに参加したか】

- ・業務説明会 14人
- ・職員訪問 10人
- ・少人数懇談会 11人
- ・1on1meeting 8人
- ・霞が関OPEN 4人
- ・政策ワークショップ 10人
- ・インターン（2週間） 3人
- ・インターン（2days） 1人

※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません。

0 1  
0 2  
0 3  
0 4  
0 5  
0 6  
0 7



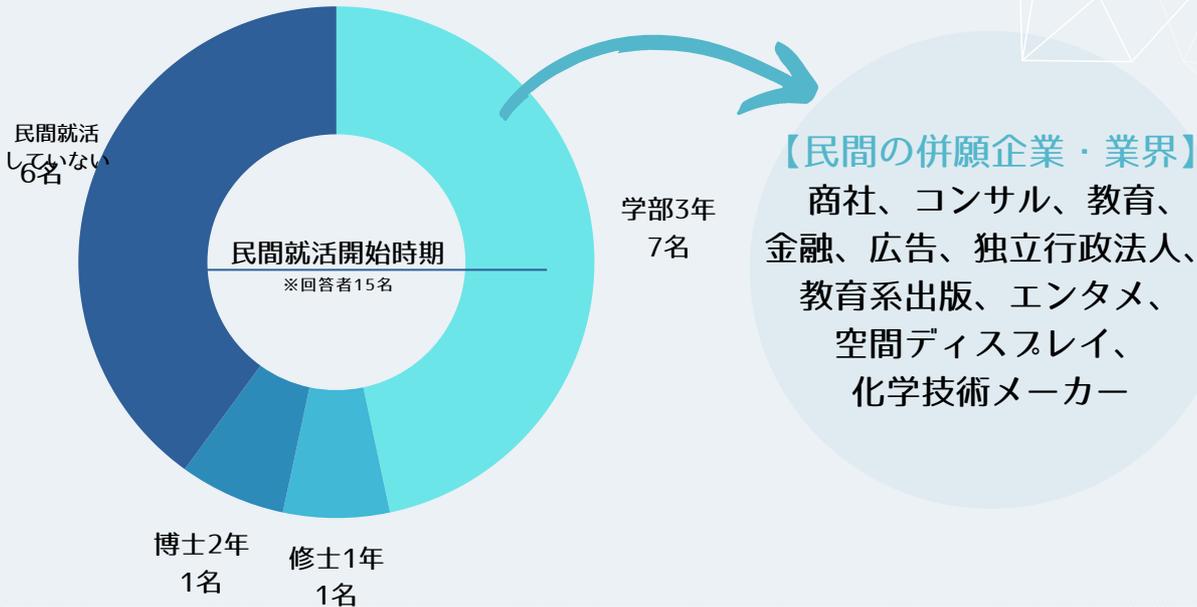
## 国家総合職以外の併願状況

※回答者15名、複数選択可

## 【公務員併願状況（教員以外）】

- ・国家一般職 4人
- ・地方公務員 3人
- ・国立国会図書館 2人
- ・裁判所、国税、国立大学法人、  
衆参事務局、文部科学省文教  
団体職員、学芸員、司書 各1人

※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません。



## 【民間就活や研究との両立について】

### ○民間就活について

- ・志望度に合わせて体力やスケジュールを調整し、適度に力を抜こう

文科省第一志望と公言しながら民間を受けてました。そのために切られてしまった面接もあった気がしますが、キャリアを考える上では良かったかと思います。/面接の場数を沢山踏めるが、かなり体力がないと厳しい。/文部科学省が第一志望だったので、公務員試験対策の息抜きのような位置づけで就活を行うようにすることで、時間をうまく使っていた。/春試験を本番にするつもりだったので、年内に民間就活に決着つけるべく選考の早い業界を受けた。/試験や官庁訪問対策との兼ね合いもあったので、早めに志望業界は絞っていきました。/民間に中途半端な時間のさき方をしてしまい内定は出ないのに時間は使ったという結果になった。しかし民間で場数を踏めたのはよかった。/民間就活の時期は、そちらに全力投球した。おかげで内定を得られ、安心感をもって官庁訪問に挑めた。

- ・民間就活の経験を官庁訪問に活かそう！

国家公務員への志望度が高かったため、民間の就活の中でも、官庁訪問のことを意識していた。国家公務員と併願であることを正直に話し、国と民間の違いや民間企業だからできることなどについてお話をうかがい、視野が広がった。/面接経験や一貫性のある志望動機を書く経験、特にGD経験は落ちた受かったでなんとなく正解が見えてくるので民間に行くつもりがなくとも民間就活はやっておいた方がいいと思う。/民間就活との両立はメリットが多いのではと思う。民間との比較を通じて様々な視点を得ることができるし、自分が納得感を持って進路を決めていくことができる。

### ○研究について

- ・官庁訪問に集中できるように早めに準備を！

M1で取れる必要単位は取っておくと楽。/担任や指導教官と事情を共有しておく。/発表関連は早めに済ませるようスケジュールをたてたり早めにまとめておく。

01

02

03

04

05

06

07



## 【就活の情報収集について（苦労したことや工夫したことなど）】

### ・ 知り合いの活用

先輩から積極的に話を聞く。/予備校には行かなかったもので、とにかく先輩に頼り、やっておくべきことを教えていただいた。また職員の方とも積極的にコミュニケーションをとるようにした。/大学のキャリアサポートセンターや民間の就活支援サービスを大いに活用するのよと思う。

### ・ インターネット・SNS・書籍・新聞の活用

SNSから情報をこまめに入れる。/日経新聞（電子版）を読む。/予備校のコースに入っていたものの国家一般コースだった+自宅で自学が中心だったので、総合職の情報はほぼインターネットや書籍頼り。周りに受験している人がいなかったで、ほとんど自分で収集していた。

### ・ 業務説明会などの活用

省庁が実施する業務説明会や職員との座談会などを積極的に活用することを強くおすすめします。公式の就活情報や手続き情報を見逃さずにアクセスしやすくなるだけでなく、他の志望者や職員の方との繋がりが生まれることで、情報収集に非常に役立ちます。メンタル面でも、一緒に対策し情報を得られる志望者同士のネットワークがあると心強いです。/オンラインイベントもあるが、できるだけ対面で参加すると職員や志望者の雰囲気をつかめる。

### ・ 予備校の活用

公務員就活についてはネット上の情報では不十分なこともあり、予備校の情報を頼りにしていました。

### ・ 情報に踊らされたり、不要な心配をしすぎないように注意！

情報収集は大切ですが、情報に踊らされることがないようにすべきだと思います。/ネット上の情報は一切遮断するのが吉。/情報源の確認は必ず行い、予備校関連が出しているものを中心にみて、個人のブログ等は経験談の1つ程度に考えていた（参考になるものは参考に、不要な焦りや心配はしない）。

## 【その他全般就活についてのアドバイス・メッセージなど】

### ・ 自分にしっかりと向き合おう

何になりたいか？どの仕事を選ぶか？は自分のやりたいことや問題意識の後からついてくるものだと思います。まずは自分が何をしたいのか、よく向き合うといいと思います。

### ・ まずは行動してみよう！

時期や学年は一切気にせず、まずは省庁の説明会に参加してみましょう！職員の方や他の学生と話すことで刺激を受け、自分の志望理由を言葉にしてみることで、自己分析にも磨きがかかります。

### ・ 体調を崩さないよう、無理のし過ぎは禁物

就職活動中に様々なことがあると思いますが、何より自らの心身を大切になさってほしいと思います。

### ・ ときには思い切った決断も

文部科学省総合職専願は絶対に排除すべき選択肢ではありません。もし文部科学省総合職以外考えられないのであれば思い切って専願にしまいましょう。その本気度は相手に必ず伝わります。

01

02

03

04

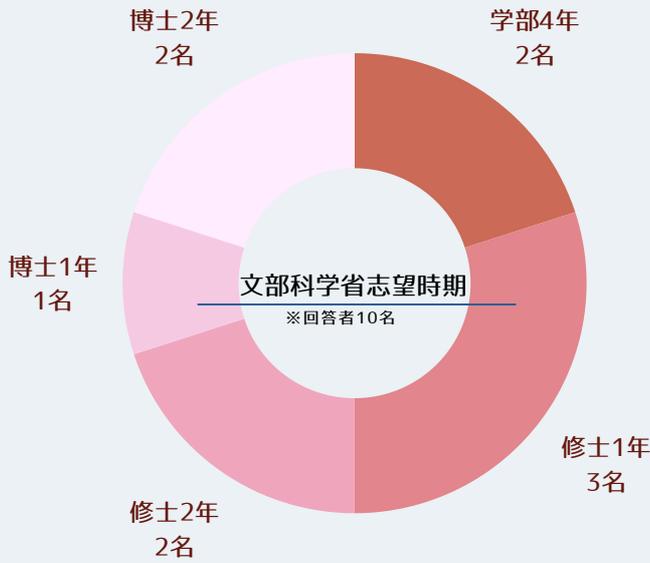
05

06

07

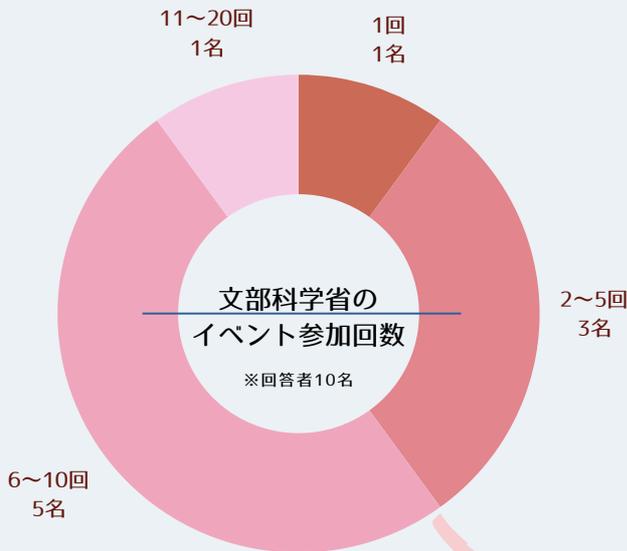


# 技術系 就活体験記



こちらは進路を決めるタイミングで具体的に志望し始めたようです！

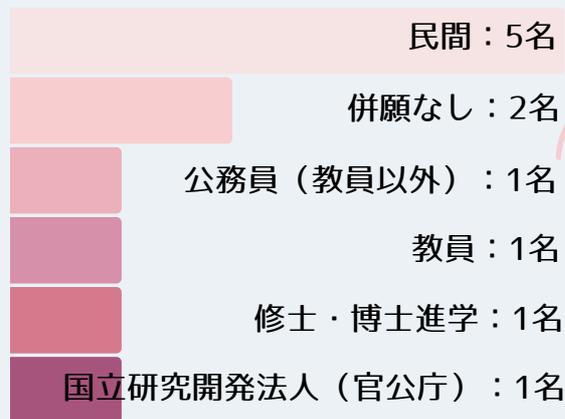
やはり業務説明会は多いですね！  
技術系は職員訪問をした人の割合も高い！



## 【どのイベントに参加したか】

- ・業務説明会 8人
- ・職員訪問 9人
- ・少人数懇談会 4人
- ・1on1meeting 1人
- ・霞が関OPEN 4人
- ・インターン（2週間） 1人

※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません。



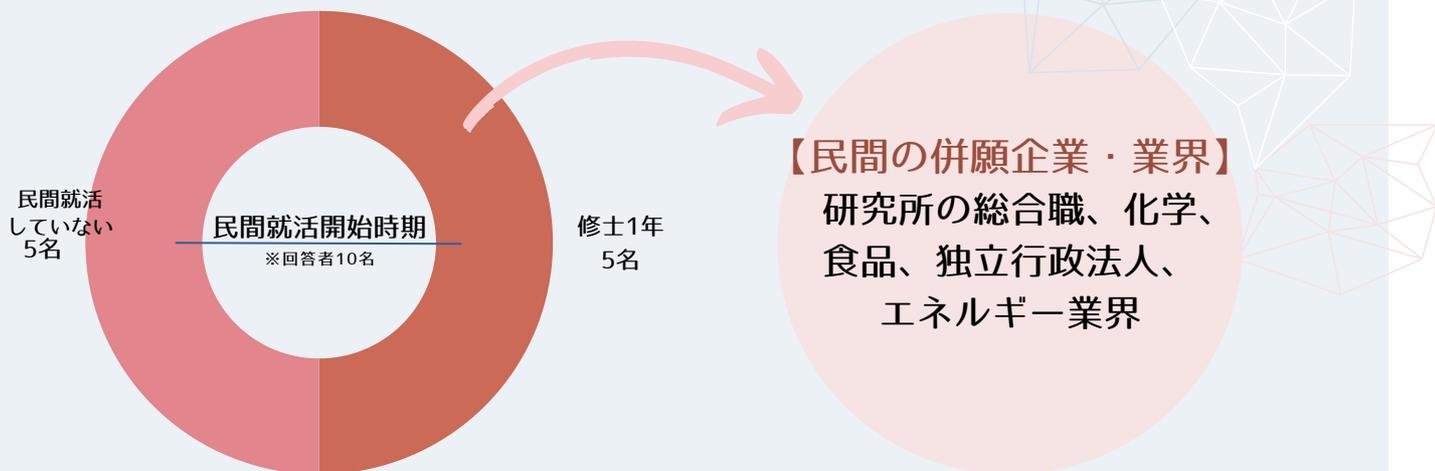
## 【公務員併願状況（教員以外）】

国家一般職 1人

### 国家総合職以外の併願状況

※回答者10名、複数選択可

0 1  
0 2  
0 3  
0 4  
0 5  
0 6  
0 7



## 【民間就活や研究との両立について】

### ○民間就活について

・民間就活での経験を官庁訪問に活かそう！

むしろ民間就活している方が、より俯瞰的に公務員業界を見ることができました。何をしたいのかを明確にすることが大切です。/面接の練習をできたのは、メリットだったと思います。/研究・公務員・民間を同時並行で進めなければいけなかったので大変でしたが、インターンに向けてエントリーシート等を書くことで自分の長所・短所、ガクチカなどを早めに準備できて、よかったです。面接などの練習になる上、内々定をもらった場合には自信にも繋がりますし、伝え方によっては官庁訪問の際のアピールポイントにもなると思います。

・進捗やスケジュール管理に気をつけて！

最近、民間就活の早期化が著しいです。2～3月に内々定が出るケースもあります。官庁訪問まで待ってもらえるよう、交渉やスケジュール管理が大変でした。無事に官庁訪問は終了しましたが、さまざまな事態を想定していました。/反省点として、研究の日程など融通の利く研究室だったため試験勉強に重きを置きすぎてしまい研究の進捗が予定より遅れてしまった。

### ○研究との両立について

・教授等にサポートを頼んでみよう

とにかく教授とコミュニケーションをとることです。/指導教官と相談したうえで就活を優先した。

・事前に見通しや優先順位を立てておこう

自分は研究を最優先にしていたのですが、就活で研究時間はどうしても削られるため、博士2年の1,2月までに卒業までの見通しを立てておくと良いと思います。/研究優先期・就活優先期を自分の中で設定してコントロールした。

・健康に気をつけて柔軟な対応を

事前に決めた計画に縛られすぎず、臨機応変に軌道修正することが大切です。あとは、自分の体と心の健康を守るのは自分だけなので、それを忘れないようにしてください。/どちらも全力投球するのは無理でした…。私の場合、春は研究活動が少し暇になるので、研究：就活=1:9くらいで過ごしていました。

・研究への後悔が残らないように

「研究できないから辞めた」とは思われなくなかったし自分でも思いたくなかったので、自他共に研究をやり切ったと思えるようにするのが最も大事だと思います。

・既合格試験の受験も一手

博士の3～6月は研究と国家公務員試験、官庁訪問の両立で大変だった。国家公務員試験に関しては既合格を取っておくとかなり楽になると思います。

0 1  
0 2  
0 3  
0 4  
0 5  
0 6  
0 7



## 【就活の情報収集について（苦労したことや工夫したことなど）】

### ・知り合いの活用

自分は学内の国家公務員対策のグループ内で知り合った方々と情報共有をしてました。/周りに国家公務員志望の人が全くおらず、昔の友人の伝を頼って一人だけ学部卒技術系の人だったのでその人の情報を頼りにしていました。

### ・自己分析と言語化に力を注ごう

どれだけ対策に時間を振っても、最後は仕事に就いた瞬間からビジョンを持って始められるかだと思っていたので、試験のことは期限を決めて終わらせて、志望先に就いたら何がしたいのか、それはなぜ今行われていないのかの情報収集と言語化に注力することが大事だと思います。

### ・業務説明会や対面イベントの活用

地方出身者ですが、国家公務員（東京）の情報はなかなか手に入りませんし、周りにいないのでイメージもつきにくいと思います。だからこそ、公務研究セミナーなどの対面イベントは大変貴重な機会だったので欠かさず参加していました。

### ・情報に踊らされたり、不要な心配をしすぎないように注意！

ネットには不安を煽るような情報もたくさんあるので、あまり気にしすぎず、職員訪問や文科省主催のイベントを上手に利用してみてください。/ネット上に色々情報が上がっていますが、実際に就活を終えてみて「その情報、違ったな」というものも多くありました。ネット情報を見て、変に不安にならない方が良いと思います（私は不安になっていました…）！

## 【その他全般就活についてのアドバイス・メッセージなど】

### ・職員訪問には積極的に参加しよう！

職員訪問へ行くことを強く強くおすすめします！！行くまではとても緊張しますが、職員の方はとても親切にお話して下さいますし、自身のアピールにもつながります。

### ・体調とメンタルの管理も大切に

大事な試験や官庁訪問本番で体調を崩しては元も子もないので、自分の体力や体調、メンタルを蔑ろにせず、臨機応変に予定を組み替えましょう。

### ・最後まで自分に向き合おう

他の人の就活状況と比較して心が折れそうになったり、本当にこの進路でいいのかと迷うこともあるかもしれませんが、自己分析をギリギリまで深めることで納得のいく選択ができると思います。いろんな人に相談をしたり意見をもらったりしながらも、最後は自分の心にまっすぐ向き合うことを大切にしてほしいと思います。

### ・経験は必ず糧になる！

就活を通して皆さんはさらに成長されることと思います。いまの経験は必ず将来の糧になりますので、どうぞがんばってください！

0 1

0 2

0 3

0 4

0 5

0 6

0 7